

別紙 1

交通死亡事故多発警報発令趣意書

鈴鹿市内では交通死亡事故が多発しており、令和7年8月6日に南若松町地内で、8月8日には末広南三丁目地内で、9月1日には下大久保町地内で交通死亡事故が発生し、30日間で3人の方が犠牲となりました。

令和7年9月3日現在の交通事故死者数は6人で前年同期比5人増と大幅に増加し、さらに昨年1年間の交通事故死者数を上回り、三重県下29市町の中で最も多くなっています。

三重県では、県内の交通事故死者数が前年同期比10人増となり、交通死亡事故多発警報が発令されましたが、その増加数の半数を鈴鹿市が占めている状況です。

このような情勢を踏まえ、交通事故の多発が懸念されるこれからの時期に市民に一層の交通安全意識を喚起するとともに交通安全活動を強化するため、交通死亡事故多発警報を発令いたします。

令和7年9月4日

鈴鹿市長 末松 則子